

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書の訂正報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第4項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成22年10月8日

【四半期会計期間】 第86期第1四半期（自平成22年3月1日至平成22年5月31日）

【会社名】 イオン株式会社

【英訳名】 AEON CO.,LTD.

【代表者の役職氏名】 取締役兼代表執行役社長 岡田元也

【本店の所在の場所】 千葉県千葉市美浜区中瀬一丁目5番地1

【電話番号】 043(212)6042(直)

【事務連絡者氏名】 コーポレート・コミュニケーション部長 末次賢一

【最寄りの連絡場所】 千葉県千葉市美浜区中瀬一丁目5番地1

【電話番号】 043(212)6042(直)

【事務連絡者氏名】 コーポレート・コミュニケーション部長 末次賢一

【縦覧に供する場所】 イオン株式会社 東京事務所
(東京都千代田区神田錦町一丁目1番地)
株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

1 【四半期報告書の訂正報告書の提出理由】

平成22年7月15日に提出いたしました第86期第1四半期（自平成22年3月1日至平成22年5月31日）四半期報告書の記載事項の一部に誤りがありましたので、これを訂正するため四半期報告書の訂正報告書を提出するものであります。

なお、四半期連結財務諸表の記載内容にかかる訂正箇所については、XBRLの修正も行いましたので、併せて修正後のXBRL形式のデータ一式についても提出いたします。

2 【訂正事項】

第一部 企業情報

第1 企業の概況

1 主要な経営指標等の推移

連結経営指標等

第2 事業の状況

4 財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析

(3) キャッシュ・フローの状況

第5 経理の状況

1 四半期連結財務諸表

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

注記事項

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

3 【訂正箇所】

訂正箇所は_を付して表示しております。

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

連結経営指標等

(訂正前)

回次	第85期 第1四半期連結 累計(会計)期間	第86期 第1四半期連結 累計(会計)期間	第85期
会計期間	自 平成21年 3月1日 至 平成21年 5月31日	自 平成22年 3月1日 至 平成22年 5月31日	自 平成21年 3月1日 至 平成22年 2月28日
省略			
営業活動による キャッシュ・フロー (百万円)	13,953	<u>108,436</u>	361,096
投資活動による キャッシュ・フロー (百万円)	105,808	8,747	324,573
財務活動による キャッシュ・フロー (百万円)	100,260	2,304	11,179
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高 (百万円)	240,908	<u>165,800</u>	280,521
省略			

(訂正後)

回次	第85期 第1四半期連結 累計(会計)期間	第86期 第1四半期連結 累計(会計)期間	第85期
会計期間	自 平成21年 3月1日 至 平成21年 5月31日	自 平成22年 3月1日 至 平成22年 5月31日	自 平成21年 3月1日 至 平成22年 2月28日
省略			
営業活動による キャッシュ・フロー (百万円)	13,953	<u>110,520</u>	361,096
投資活動による キャッシュ・フロー (百万円)	105,808	8,747	324,573
財務活動による キャッシュ・フロー (百万円)	100,260	2,304	11,179
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高 (百万円)	240,908	<u>163,716</u>	280,521
省略			

第2 【事業の状況】

4 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(3) キャッシュ・フローの状況

(訂正前)

当第1四半期連結会計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ、1,147億20百万円減少し、1,658億円となりました。

当第1四半期連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの主な要因は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による結果、減少した資金は1,084億36百万円となりました(前年第1四半期は139億53百万円の収入)。前第1四半期連結会計期間に比べ1,223億90百万円減少となった要因は、減価償却費等の非資金性費用を除いた税金等調整前四半期純利益が119億68百万円増加したことによる収入があった一方、売上債権の増減額が258億20百万円増加したことや、前期末日が銀行休業日と重なった影響で、仕入債務の増減額が618億59百万円、その他の資産・負債の増減額が428億70百万円それぞれ減少したこと等による支出によるものです。

省略

(訂正後)

当第1四半期連結会計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ、1,168億4百万円減少し、1,637億16百万円となりました。

当第1四半期連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの主な要因は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による結果、減少した資金は1,105億20百万円となりました(前年第1四半期は139億53百万円の収入)。前第1四半期連結会計期間に比べ1,244億73百万円減少となった要因は、減価償却費等の非資金性費用を除いた税金等調整前四半期純利益が119億68百万円増加したことによる収入があった一方、売上債権の増減額が258億20百万円増加したことや、前期末日が銀行休業日と重なった影響で、仕入債務の増減額が618億59百万円、その他の資産・負債の増減額が449億54百万円それぞれ減少したこと等による支出によるものです。

省略

第5 【経理の状況】

1 【四半期連結財務諸表】

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(訂正前)

(単位：百万円)

	前第1四半期 連結累計期間 (自平成21年3月1日 至平成21年5月31日)	当第1四半期 連結累計期間 (自平成22年3月1日 至平成22年5月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	8,422	42,519
減価償却費	36,416	34,243
のれん償却額	1,921	1,759
負ののれん償却額	2,852	2,848
貸倒引当金の増減額(は減少)	8,513	7,233
利息返還損失引当金の増減額(は減少)	350	1,709
賞与引当金の増減額(は減少)	12,011	12,932
退職給付引当金の増減額(は減少)	1,013	78
店舗閉鎖損失引当金の増減額(は減少)	776	72
受取利息及び受取配当金	934	1,459
支払利息	2,931	2,834
持分法による投資損益(は益)	428	542
減損損失	-	2,295
子会社株式売却損益(は益)	-	18,135
売上債権の増減額(は増加)	32,828	58,648
たな卸資産の増減額(は増加)	3,576	2,608
営業貸付金の増減額(は増加)	1,855	8,229
仕入債務の増減額(は減少)	2,054	59,804
その他の資産・負債の増減額	11,593	<u>31,277</u>
その他	304	656
小計	47,654	<u>75,648</u>
利息及び配当金の受取額	1,166	1,501
利息の支払額	2,796	2,506
法人税等の支払額	32,071	31,783
営業活動によるキャッシュ・フロー	13,953	<u>108,436</u>

(単位：百万円)

	前第1四半期 連結累計期間 (自平成21年3月1日 至平成21年5月31日)	当第1四半期 連結累計期間 (自平成22年3月1日 至平成22年5月31日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	386	398
有価証券の売却による収入	492	522
有形固定資産の取得による支出	111,024	53,770
有形固定資産の売却による収入	909	2,872
投資有価証券の取得による支出	2,951	1,060
投資有価証券の売却による収入	627	1,506
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	284	1,496
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出	-	10,121
貸付金の回収による収入	-	2 44,653
差入保証金の差入による支出	5,101	2,658
差入保証金の回収による収入	8,083	8,074
預り保証金の受入による収入	4,846	7,581
預り保証金の返還による支出	5,656	5,150
その他	4,069	2,295
投資活動によるキャッシュ・フロー	105,808	8,747
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金及びコマーシャル・ペーパーの増減額（は減少）	70,672	22,040
長期借入れによる収入	103,714	65,364
長期借入金の返済による支出	54,983	64,960
社債の償還による支出	385	271
配当金の支払額	13,008	15,304
少数株主への配当金の支払額	4,373	4,471
その他	1,376	93
財務活動によるキャッシュ・フロー	100,260	2,304
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,516	159
現金及び現金同等物の増減額（は減少）	9,922	<u>114,720</u>
現金及び現金同等物の期首残高	224,625	280,521
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額（は減少）	6,360	-
現金及び現金同等物の四半期末残高	240,908	1 <u>165,800</u>

(訂正後)

(単位：百万円)

	前第1四半期 連結累計期間 (自平成21年3月1日 至平成21年5月31日)	当第1四半期 連結累計期間 (自平成22年3月1日 至平成22年5月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	8,422	42,519
減価償却費	36,416	34,243
のれん償却額	1,921	1,759
負ののれん償却額	2,852	2,848
貸倒引当金の増減額(は減少)	8,513	7,233
利息返還損失引当金の増減額(は減少)	350	1,709
賞与引当金の増減額(は減少)	12,011	12,932
退職給付引当金の増減額(は減少)	1,013	78
店舗閉鎖損失引当金の増減額(は減少)	776	72
受取利息及び受取配当金	934	1,459
支払利息	2,931	2,834
持分法による投資損益(は益)	428	542
減損損失	-	2,295
子会社株式売却損益(は益)	-	18,135
売上債権の増減額(は増加)	32,828	58,648
たな卸資産の増減額(は増加)	3,576	2,608
営業貸付金の増減額(は増加)	1,855	8,229
仕入債務の増減額(は減少)	2,054	59,804
その他の資産・負債の増減額	11,593	<u>33,360</u>
その他	304	656
小計	47,654	<u>77,732</u>
利息及び配当金の受取額	1,166	1,501
利息の支払額	2,796	2,506
法人税等の支払額	32,071	31,783
営業活動によるキャッシュ・フロー	13,953	<u>110,520</u>

(単位：百万円)

	前第1四半期 連結累計期間 (自平成21年3月1日 至平成21年5月31日)	当第1四半期 連結累計期間 (自平成22年3月1日 至平成22年5月31日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	386	398
有価証券の売却による収入	492	522
有形固定資産の取得による支出	111,024	53,770
有形固定資産の売却による収入	909	2,872
投資有価証券の取得による支出	2,951	1,060
投資有価証券の売却による収入	627	1,506
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	284	1,496
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出	-	10,121
貸付金の回収による収入	-	2 44,653
差入保証金の差入による支出	5,101	2,658
差入保証金の回収による収入	8,083	8,074
預り保証金の受入による収入	4,846	7,581
預り保証金の返還による支出	5,656	5,150
その他	4,069	2,295
投資活動によるキャッシュ・フロー	105,808	8,747
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金及びコマーシャル・ペーパーの増減額（は減少）	70,672	22,040
長期借入れによる収入	103,714	65,364
長期借入金の返済による支出	54,983	64,960
社債の償還による支出	385	271
配当金の支払額	13,008	15,304
少数株主への配当金の支払額	4,373	4,471
その他	1,376	93
財務活動によるキャッシュ・フロー	100,260	2,304
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,516	159
現金及び現金同等物の増減額（は減少）	9,922	<u>116,804</u>
現金及び現金同等物の期首残高	224,625	280,521
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額（は減少）	6,360	-
現金及び現金同等物の四半期末残高	240,908	1 <u>163,716</u>

【注記事項】

(訂正前)

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

前第1四半期連結累計期間 (自平成21年3月1日 至平成21年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年3月1日 至平成22年5月31日)
現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成21年5月31日現在)	1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成22年5月31日現在)
現金及び預金 255,243百万円	現金及び預金 181,790百万円
預入期間が3ヶ月超の定期預金 12,301	預入期間が3ヶ月超の定期預金 14,581
負の現金同等物としての当座借越 1,423	負の現金同等物としての当座借越 2,449
保険料預り金 609	保険料預り金等 <u>1,041</u>
現金及び現金同等物 <u>240,908百万円</u>	現金及び現金同等物 <u>165,800百万円</u>
	2 貸付金の回収による収入 当連結会計年度の期首において連結の範囲から除外した米国のタルボット社からの貸付金の返済額(44,480百万円)を含んでおります。

(訂正後)

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

前第1四半期連結累計期間 (自平成21年3月1日 至平成21年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年3月1日 至平成22年5月31日)
現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成21年5月31日現在)	1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成22年5月31日現在)
現金及び預金 255,243百万円	現金及び預金 181,790百万円
預入期間が3ヶ月超の定期預金 12,301	預入期間が3ヶ月超の定期預金 14,581
負の現金同等物としての当座借越 1,423	負の現金同等物としての当座借越 2,449
保険料預り金 609	保険料預り金等 <u>1,041</u>
現金及び現金同等物 <u>240,908百万円</u>	現金及び現金同等物 <u>163,716百万円</u>
	2 貸付金の回収による収入 当連結会計年度の期首において連結の範囲から除外した米国のタルボット社からの貸付金の返済額(44,480百万円)を含んでおります。